下部消化管手術における筋膜閉鎖法についての前向き観察研究（抗菌糸と非抗菌糸の比較）のデータを用いた腹壁瘢痕ヘルニア危険因子の検討について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】
本研究は、「下部消化管手術における筋膜閉鎖法についての前向き観察研究（抗菌糸と非抗 菌糸の比較）」に登録された方を対象に、下部消化管手術における腹壁瘢痕ヘルニア（脱腸）の発症について、手術の手技・糸の種類などの様々な原因と腹壁瘢痕ヘルニア発症との関係について検討するために行います。

【対象】
「下部消化管手術における筋膜閉鎖法についての前向き観察研究（抗菌糸と非抗菌糸の比較）」に登録された方。

【情報の利用目的及び利用方法】
下部消化管手術における筋膜閉鎖法について、手術の手技・糸の種類などの様々な原因と腹壁瘢痕ヘルニア発症との関係について検討するために行います。
施設、データセンター、研究事務局間のデータのやりとりは、パスワードを付与した データファイル用いて電子メール、または記憶媒体にて行います。またパスワードの伝達はデータファイルと同時に行わないことで個人情報の管理を行います。

【調査項目】
生年月日、イニシャル、手術日、手術方法、手術で腹部を閉じる際に使用した糸の太さ、腹部 CT 画像（腹壁瘢痕ヘルニアの有無や撮影体位等の情報を使用します）

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】
西暦　2016 年 12 月 1 日　～　西暦　2022 年 6 月 30 日

【利用する者の範囲】
大阪大学消化器外科共同研究会

【試料・情報の管理について責任を有する者】
研究事務局における個人情報管理責任者：大阪大学医学部附属病院　消化器外科　植村　守
当院における個人情報管理責任者：関西労災病院　消化器外科　畑　泰司

【研究期間】
実施許可日から 2024 年　3 月　31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究機関・組織】
【研究代表者】
三吉 範克
大阪大学大学院医学系研究科　外科系臨床医学専攻　外科学講座消化器外科学
〒565-0871 吹田市山田丘 2-2 Ｅ21-19
TEL：06-6879-3251
e-mail: nmiyoshi@gesurg.med.osaka-u.ac.jp

【研究事務局】
植村 守、三吉 範克、 高橋 秀和
大阪大学消化器外科共同研究会　大阪大学　消化器外科
TEL：06-6879-3251
FAX：06-6879-3259

【データセンター】
SCCRE データセンター（9：00～17：00）
〒565-0871 吹田市山田丘 2-2.E21-25C
TEL：06-6879-3257　FAX：06-6879-3283

【当院の研究責任者】
村田幸平
関西労災病院　外科
〒660-8511　兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69
TEL: 06-6416-1221（代表）
FAX: 06-6419-1870（代表）
E-mail： kmuratajp@uahoo.co.jp